



代表取締役 百々 智子さん

私たちは、お守りのほかに数多くのご朱印帳を作っています。以前、アフロヘアの阿弥陀仏のイラストが愛らしいご朱印帳を作ったのですが、これはあるお寺で螺髪（頭髪）がすごく大きくてユニークなご本尊を拝観したとき、「もっと多くの方に伝えたい」と思ったことがきっかけです。

お参りの時には、最初に参拝してからお守りやご朱印をいただき、神仏との絆を深めてもらいたいと思います。手を合わせることにより願いを伝え、自分自身も精進する気持ちが強くなるのではないのでしょうか。京都はたくさんの魅力的なモノ、コトに恵まれています。そのことに感謝の気持ちを持つことで、飾らないおもてなしができればと心がけています。



作り手の思いを  
お守りに添えて

## こころを込めて 我が社のおもてなし

### 松田株式会社

代表者 / 百々 智子  
住所 / 京都市西京区大原野灰方町 281-59  
TEL / 075-333-2078

創業以来、神社やお寺から直接要望をお聞きし、オーダーメイドでお客様のニーズにかなうお守りづくりに取り組んできました。よく見かける金地に赤文字の一般的なものだけでなく、ご本尊や掛軸の絵、建物や景色をデザインに取り入れ、材質にもこだわったオリジナルのお守りに仕立てることもあるそうです。

「作り手の思いを添えて届けたい」。百々さんは以前、自分の願いを札（カード）に書いて袋の中に入れてられるお守りを開発しました。受験合格、健康長寿、商売繁盛…、一人ひとりの願い事はさまざまですが、神仏のお力をいただき、具体的に文字にしたためることで、実現に向かって努力する気持ちを忘れないでほしい。そんな百々さんのメッセージが、そのお守りには込められています。

こうした思いを多くの人に伝えるため、お守りづくりの体験教室を京都の有名寺院や旅行会社と連携して開催することがあります。西陣織のさまざまな生地や紐、色とりどりの鈴を組み合わせ、願い事を書いた札を添えれば、自分だけのお守りの完成。もちろん、神社やお寺できちんと祈願していただけます。「目に見えない神仏と心を通わせることができる参加型の取り組み」と百々さん。たくさんの方に喜ばれています。

何か願い事をするとき、そっとお守りに手を触れてみてください。指先から伝わる温もりに、きつと勇気をもたらえることでしょう。